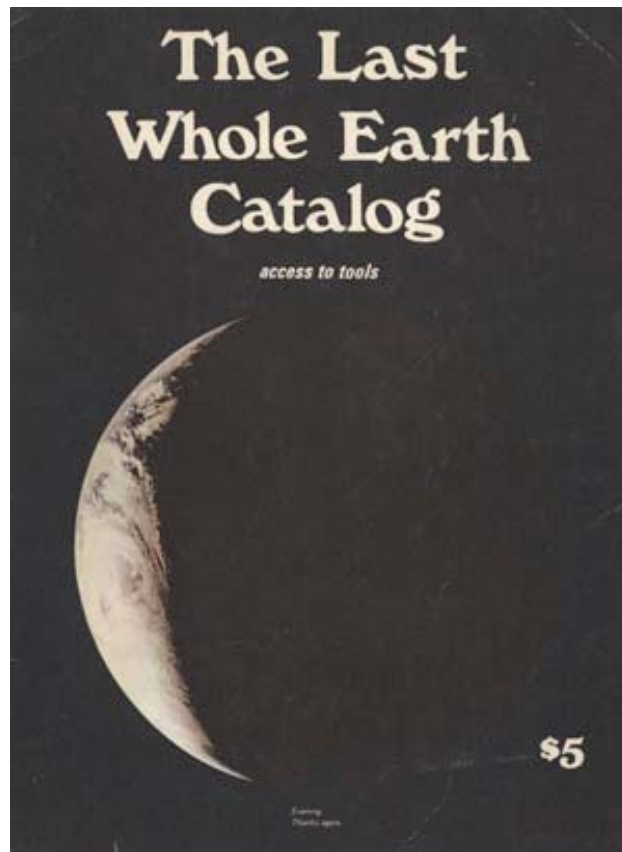


事実、認識、情報
創造的人々では
デザインそのものがコミュニケーション。



Schooling-Pad

デザインコミュニケーション学部 第8期生募集中！

開催期間：2009年4月4日～6月27日 毎週土曜日 14：00-16：30

受講回数：全12回

募集人数：40名 ※多少変動有

開催場所：世田谷ものづくり学校内教室

授業料：189,000円（消費税込）

申込方法：スクーリング・パッドウェブサイト（<http://www.schooling-pad.jp/>）の学校説明会フォームから。学校説明会に参加できない方は下記問合せ先までお問い合わせください。

問合せ先：スクーリング・パッド事務局

（電話：03-5474-1011 メール：info@schooling-pad.jp）

www.schooling-pad.jp

事実、認識、情報 創造的人々では デザインそのものがコミュニケーション。

学校教育で忘れられたもの。以前、イスラエルのテルアビブ美術館からデザイン展のことで呼ばれたことがありました。意外にもガザ地区以外は平和で、エルサレムには2キロ四方の中に、イスラム教のモスクのそばにキリスト教のキリストのはり付けられた十字架の教会やユダヤ教の有名な嘆きの壁が在りました。ガイドのおじさんは心理学者で、まずガイドをする前に3時間ほどカフェでボクに対するインタビュー。何が見たいのか？なぜそこが見たいのか？何をしているのか？見たいことには理由がある。知りたいのには訳がある。そうしたことを充分聞いてからその後3日間のかぎられた時間を丁寧にガイドをしてくれました。日本の学校では良い答えは何か？早く問題を解く為にはどうするのか？いい大学に入る為にはどう勉強するか。まずできるだけ早くから学び始めます。ユダヤ人はノーベル賞を一番沢山とっている民族だそうです。先ずなにが問題なのかを問題視する。一番いい問題を考えついた人が一番偉い。なぜならいい問題には次のいい問題が自ずと出てくるもの、早く出した答えには次がない。其れで終わり、そんなに急いで何を解こうというんだらうか。いい答えよりいい問題を見つける能力。我々は日本の学校でみなさんが忘れてしまったこと、先生が考えなかった問題をゲストスピーカーと共にみなさんに投げかけます。そうすることによってみなさんが潜在的に持っている可能性の花を咲かせること、其れが僕らのデザインです。大不況といはれる現在の社会にこそ何が問題なのかのヒントが沢山隠されています。

デザインコミュニケーション学部学部長 黒崎輝男

黒崎輝男／Teruo Kurosaki

1949年東京生まれ。早稲田大学理工学部応用物理学科卒業。

アンティーク家具の輸入販売を業務とする黒崎貿易株式会社を設立後、「IDEE」を創立。オリジナル家具の企画販売・国内外のデザイナーのプロデュースを中心に、“生活の探求”をテーマに生活文化を広くビジネスとして展開。「東京デザイナーズブロック」「Rプロジェクト」など、デザインを取り巻く都市の状況を作ることに取り組む。2005年“好きな人とだけ好きなことしかしない”をコンセプトに“流石”と言わせることが目的の流石創造集団株式会社を設立。デザインを媒体としたコミュニケーションの在り方を広めるべく、デザインコミュニケーション学部長に就任。

www.schooling-pad.jp